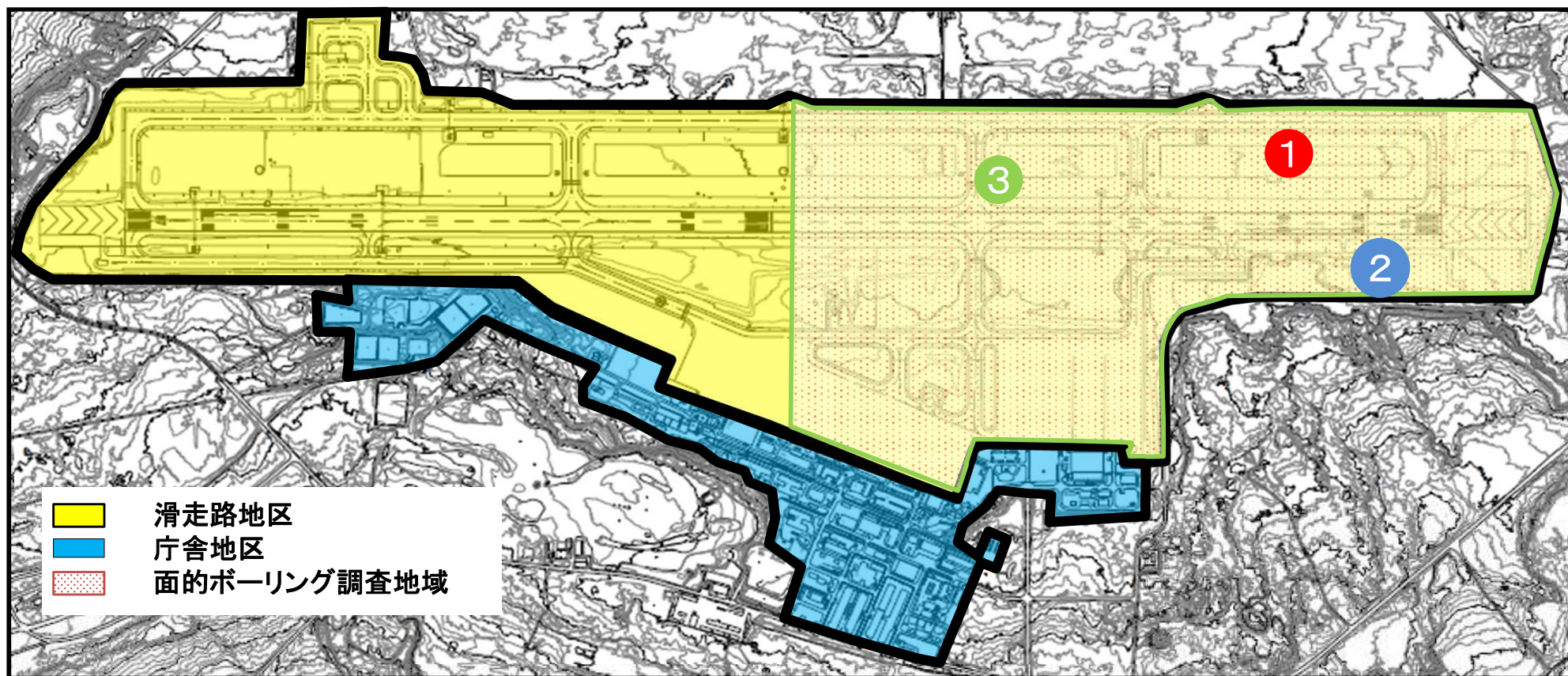


令和7年度の取組状況等①

令和7年度実施計画	これまでの取組状況(令和8年3月31日現在)
○滑走路地区の掘削・遺骨収容	
<p>1 令和元年度に確認された未探索の壕(1箇所)について、入壕するための開口工事、壕内調査を行い、遺骨が確認された場合には、その保全又は収容。(P3)</p> <p>2 引き続きボーリング調査等により確認された未探索の壕(令和3年度1箇所、令和5年度1箇所)について、構造解析や入壕方法の調査・検討。(P4～P5)</p> <p>3 防衛省が実施するプレキャスト版実証実験に伴う掘削調査(P6)</p>	<p>○ 令和7年9月に発生した噴火の影響により実施に至らなかった。 (令和8年度に開口工事、壕内調査を行い、遺骨の有無を確認する予定)</p> <p>○ 引き続きボーリング調査等により確認された未探索の壕(令和5年度1箇所)について、構造解析や入壕方法の調査・検討を行った。 (令和3年度1箇所については、令和9年度以降に実施する予定)</p> <p>○ 令和7年9月に発生した噴火の影響により掘削調査の実施に至らなかった。 (令和8年度に掘削調査を行い、遺骨の有無を確認する予定)</p>
○外周道路外側の面的調査・遺骨収容	
<p>4 樹木等の全伐開による表層の遺骨調査。(P7～P8)</p> <p>5 平成26年度～30年度調査区域の面的調査及びその後の調査により確認された壕等からの遺骨収容。(P9)</p>	<p>○ 令和7年度は12グリッドにおいて、延べ2.8グリッドに相当する面積を伐開した結果、5グリッドの9箇所から大腿骨や長管骨等の御遺骨を確認した。 (2箇所で5柱を収容。その他の箇所は調査継続中) ※ 1グリッド=約180m×約180m</p> <p>○ 令和7年度は30箇所を調査した結果、37柱の御遺骨を収容した。 (全伐開による調査において確認された御遺骨5柱を含む)</p>
○滑走路地区周辺以外の地下壕調査	
<p>6 北飛行場跡地におけるボーリング調査の実施。(P10)</p>	<p>○ これまでの地中レーダー探査で反応があった6箇所において、ボーリング調査を行った結果、新たな壕等は確認されなかった。</p>

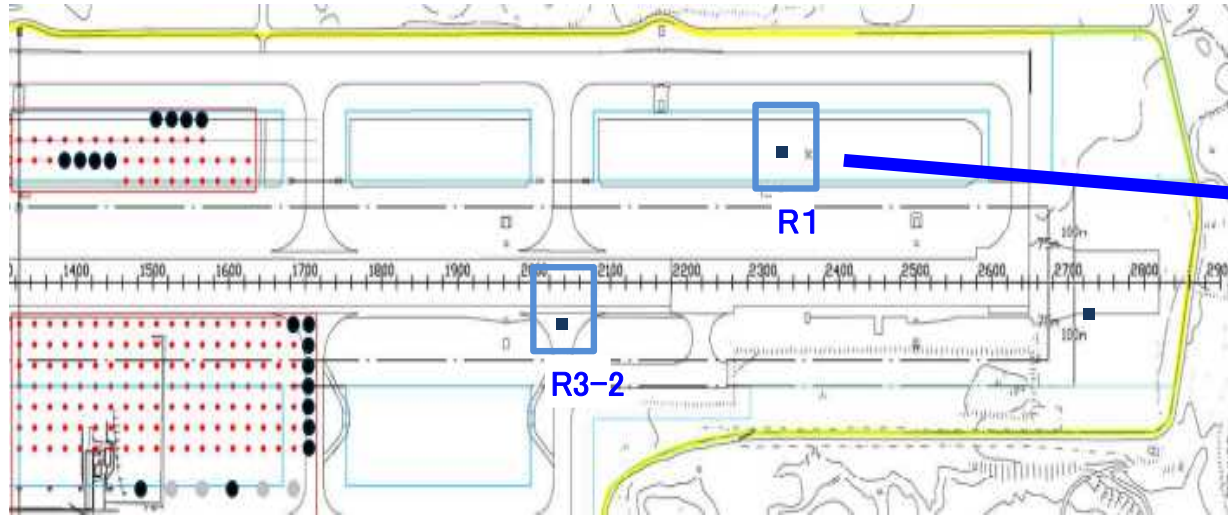
令和7年度の取組状況等②（滑走路及び滑走路周辺部図）



- 1 令和元年度に発見された地下壕（入壕調査を行う予定だったが、噴火活動の影響を受け中止）
- 2 ボーリング調査等により確認された未探索の壕（令和5年度）の構造解析や入壕方法の調査・検討を実施
- 3 防衛省が行うプレキャスト版実証実験に伴い掘削調査を行う予定だったが、噴火活動の影響を受け中止

1

滑走路地区未探索壕の調査状況



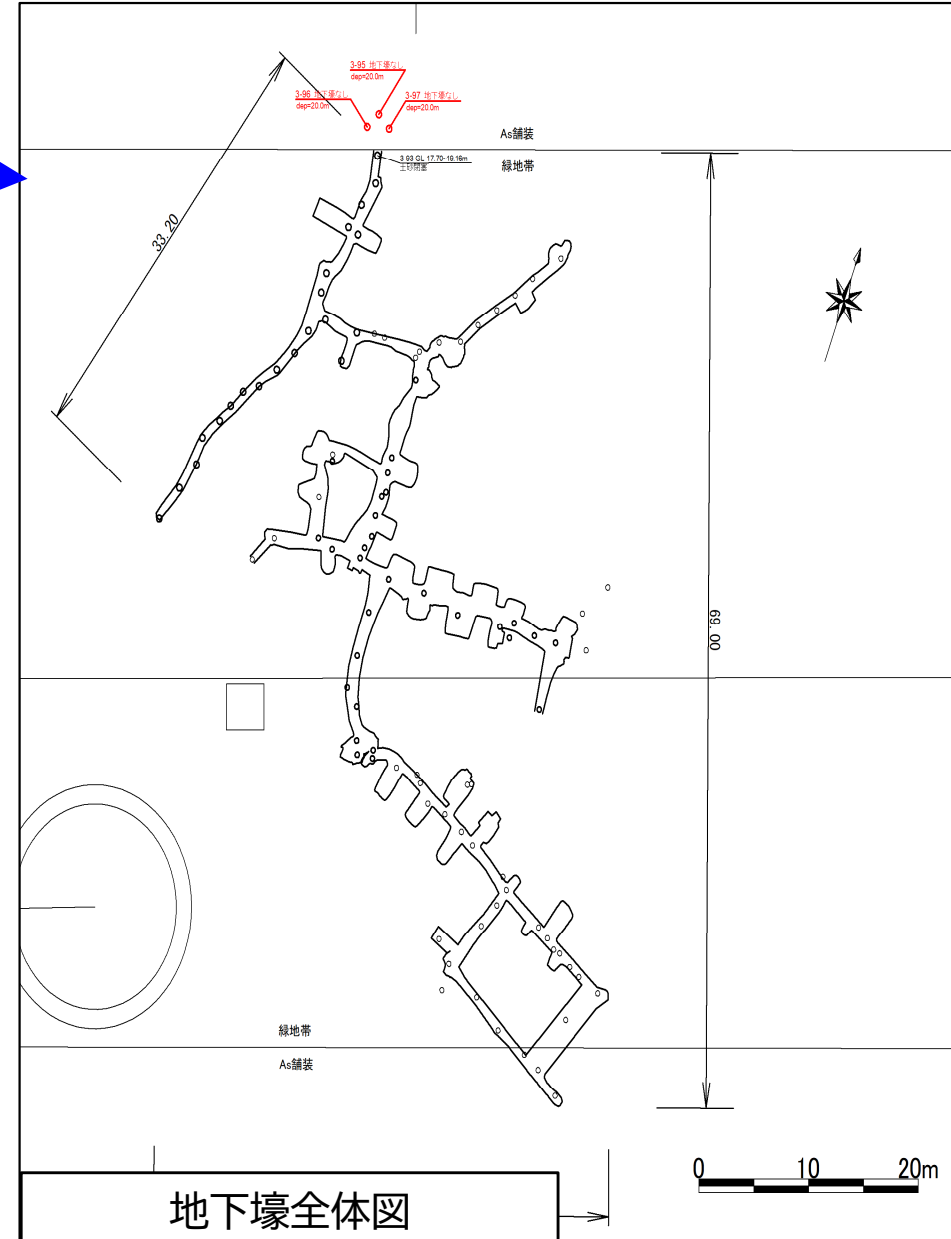
令和7年度は開口工事を行い、壕内を調査し、遺骨が確認された場合、収容する予定であったが、噴火活動の影響により実施不可となった。

調査イメージ

※写真は令和元年度発見地下壕と別の箇所

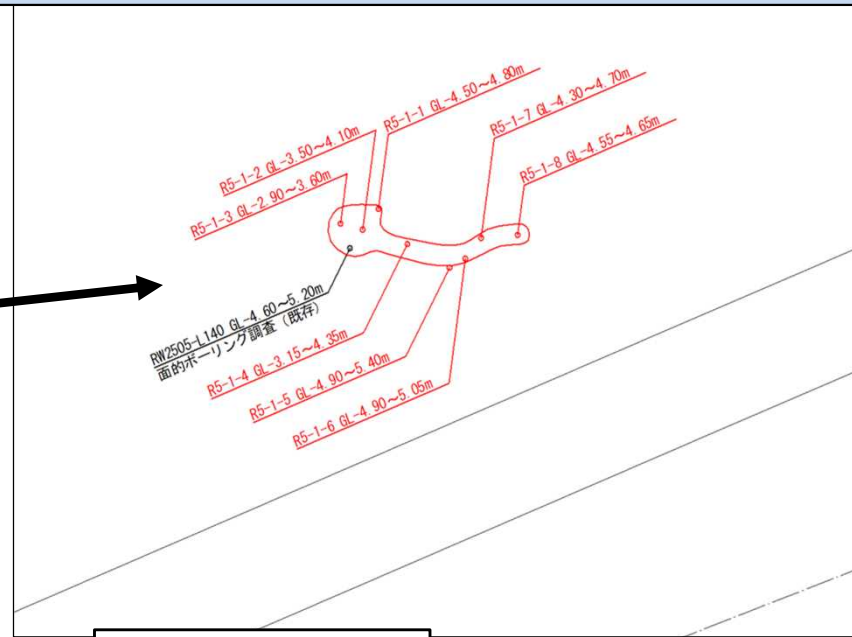
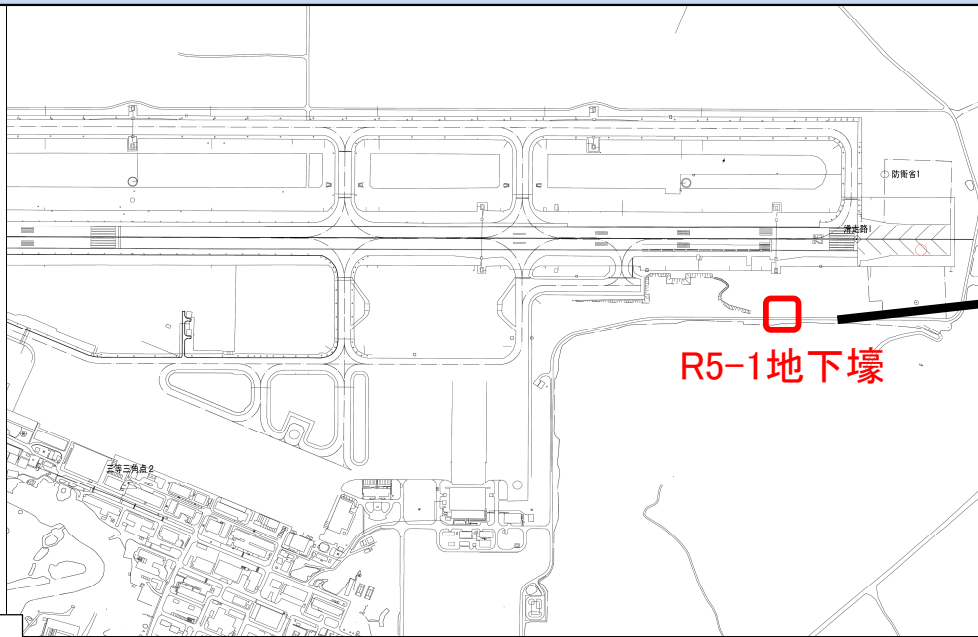


令和8年度に実施予定

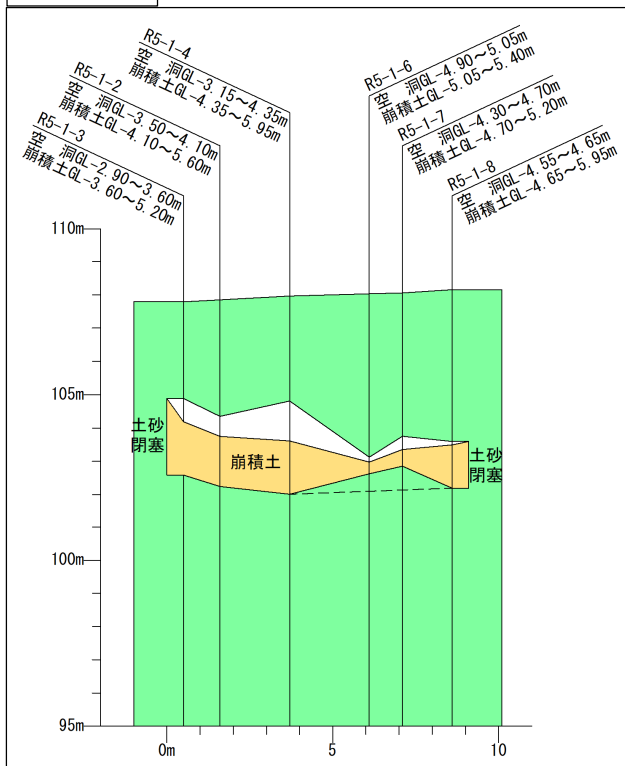


地下壕全体図

2 ボーリング調査等により確認された未探索の壕の状況



断面図



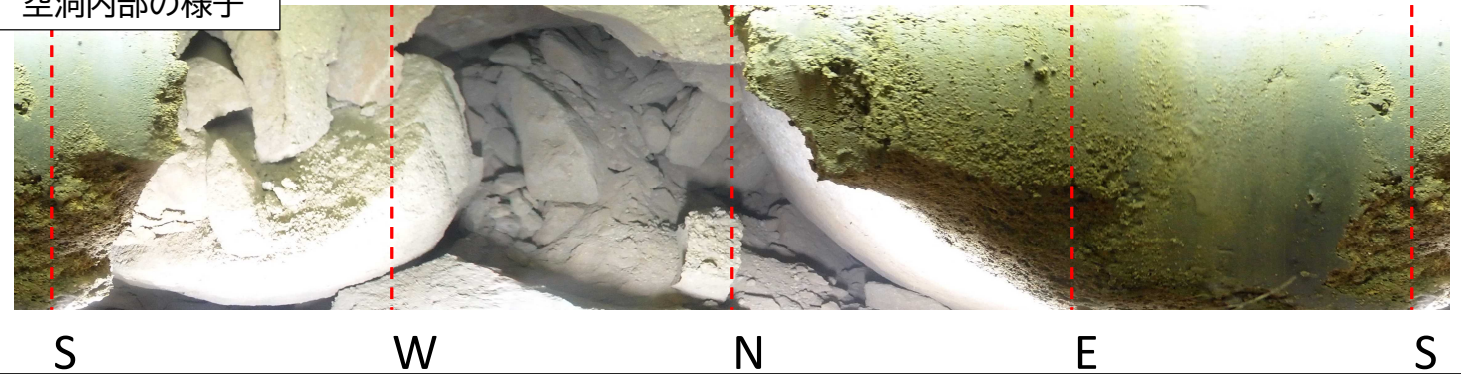
ボーリング調査の様子



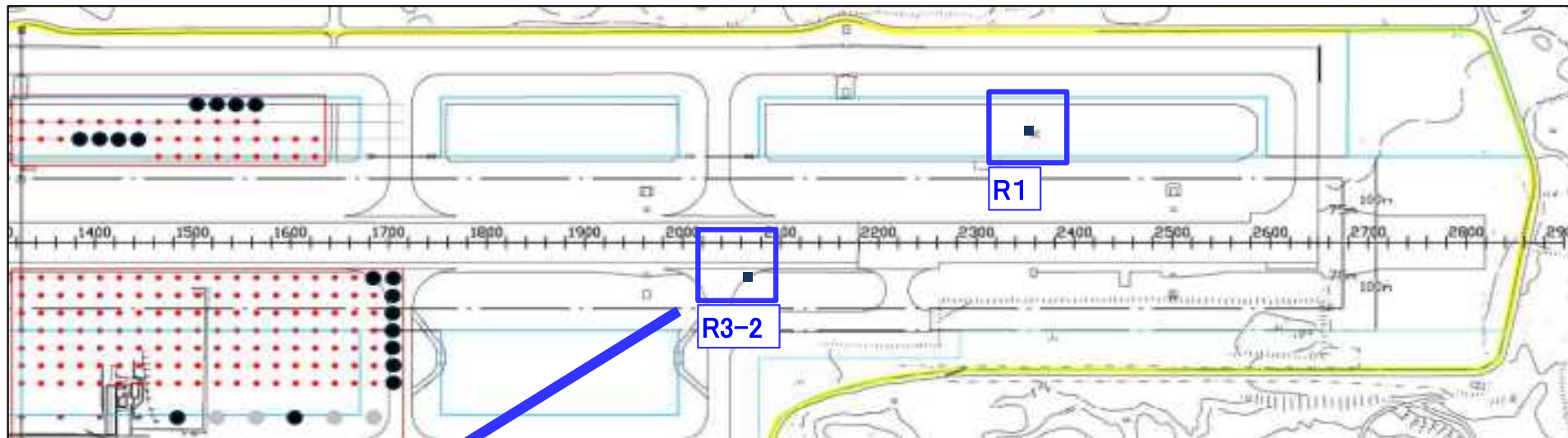
結果の概要

- 令和5年度に発見された地下壕について、8本のボーリングを入れて内部の状況を把握
- 内部は崩積土又は埋戻し土により閉塞された状態
- 岩盤には亀裂が発生し、天井崩落の危険性もあることから今後の調査の際は安全対策が必要

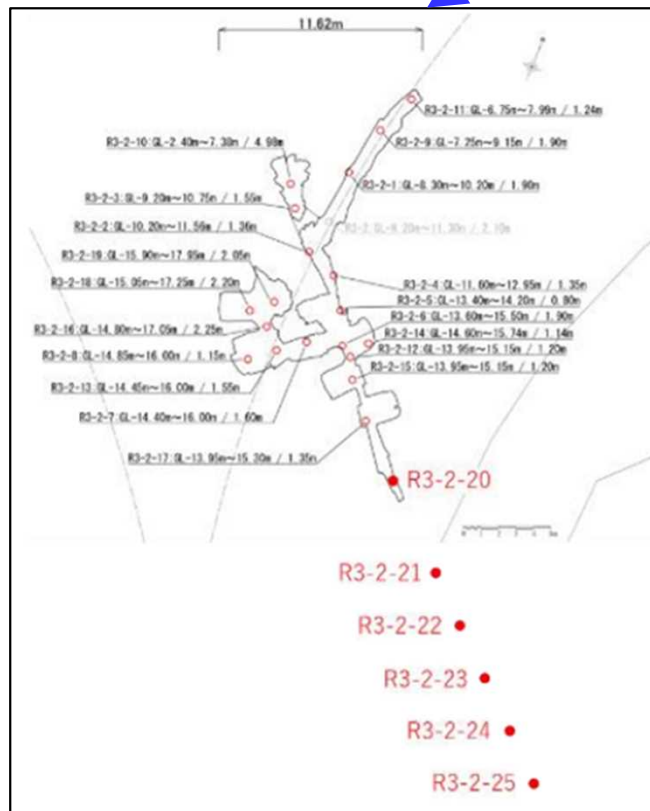
空洞内部の様子



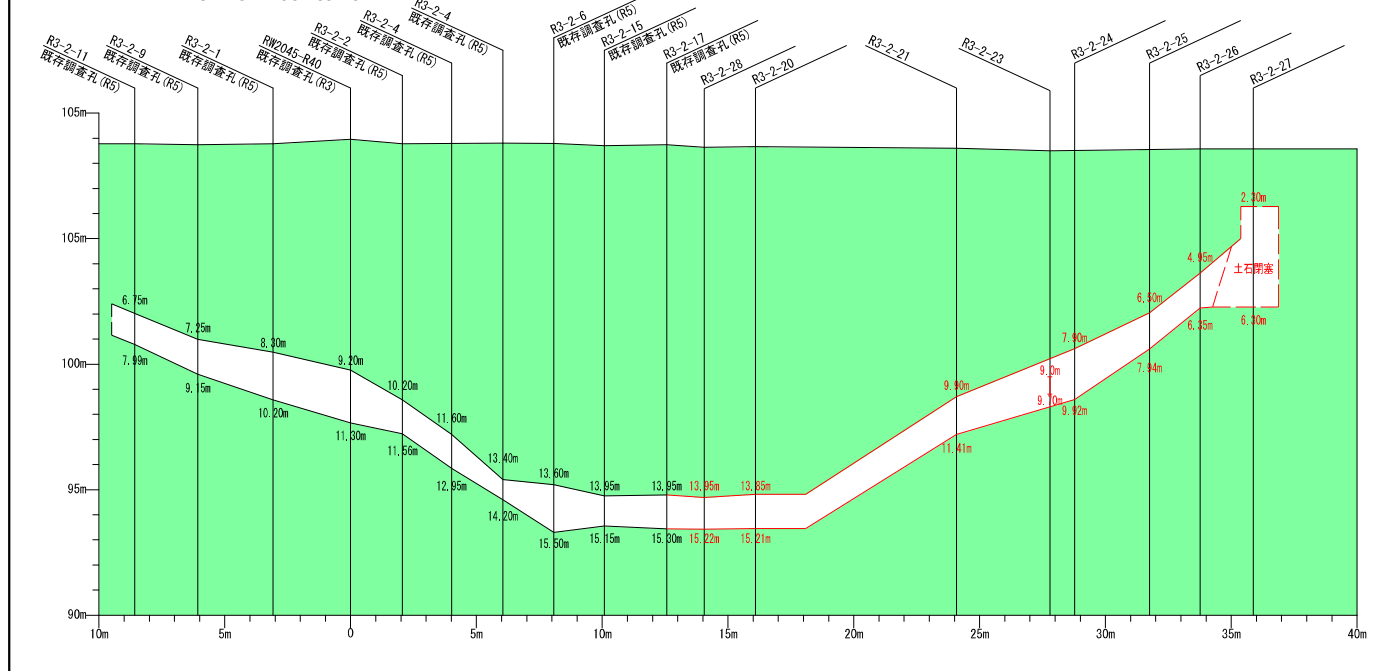
2 ボーリング調査等により確認された未探索の壕の状況



R3-2 地下壕全体図



R3-2 地下壕断面図



令和7年度は入壕方法の再検討のため、必要なボーリング調査を行う予定であったが、噴火活動の影響を受け中止した。令和9年度以降に実施する予定

令和5年度から実施している「硫黄島の滑走路の維持管理に関する技術検討」において、硫黄島の地形変動に対応する手段として、**プレキャスト版での補修**は『**施工速度が速いことから技術的な課題を克服する有効な手段の1つ**』との**見解**が示されたことから、実際に、**硫黄島においてプレキャスト版を使用し、滑走路を速やかに補修することが可能であることを確認**すべく調査検討(実証実験)を実施する。

プレキャスト版での実証実験を行うことにより、**実施箇所(接続誘導路)を剥離する必要が生じる**ことから、その剥離した箇所において、厚生労働省による**ご遺骨確認**を行う。

実施箇所(硫黄島N-3誘導路)



仮置き場でのご遺骨確認イメージ



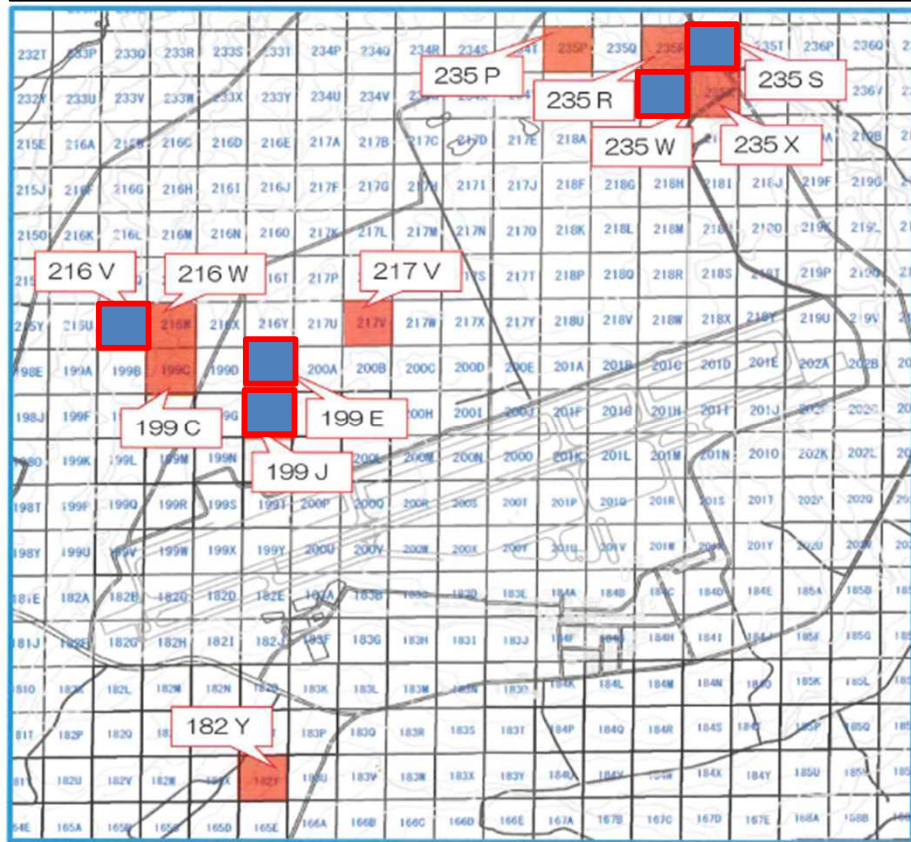
完了イメージ(厚木飛行場プレキャスト)



硫黄島滑走路 実施サイズ(長さ:約50m(予定)×幅:約23m×深さ:約3m※S19旧地表面まで)

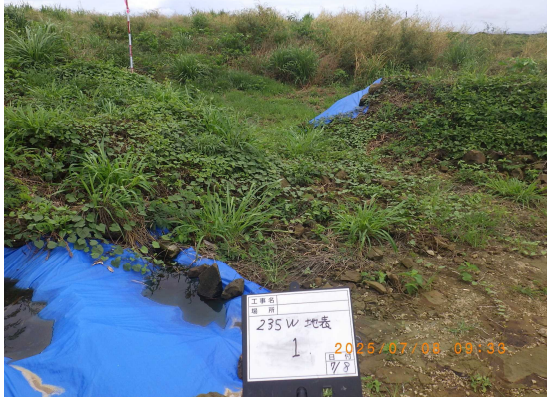


計 91057.95m² 2. 8グリッドに相当する面積を掘削

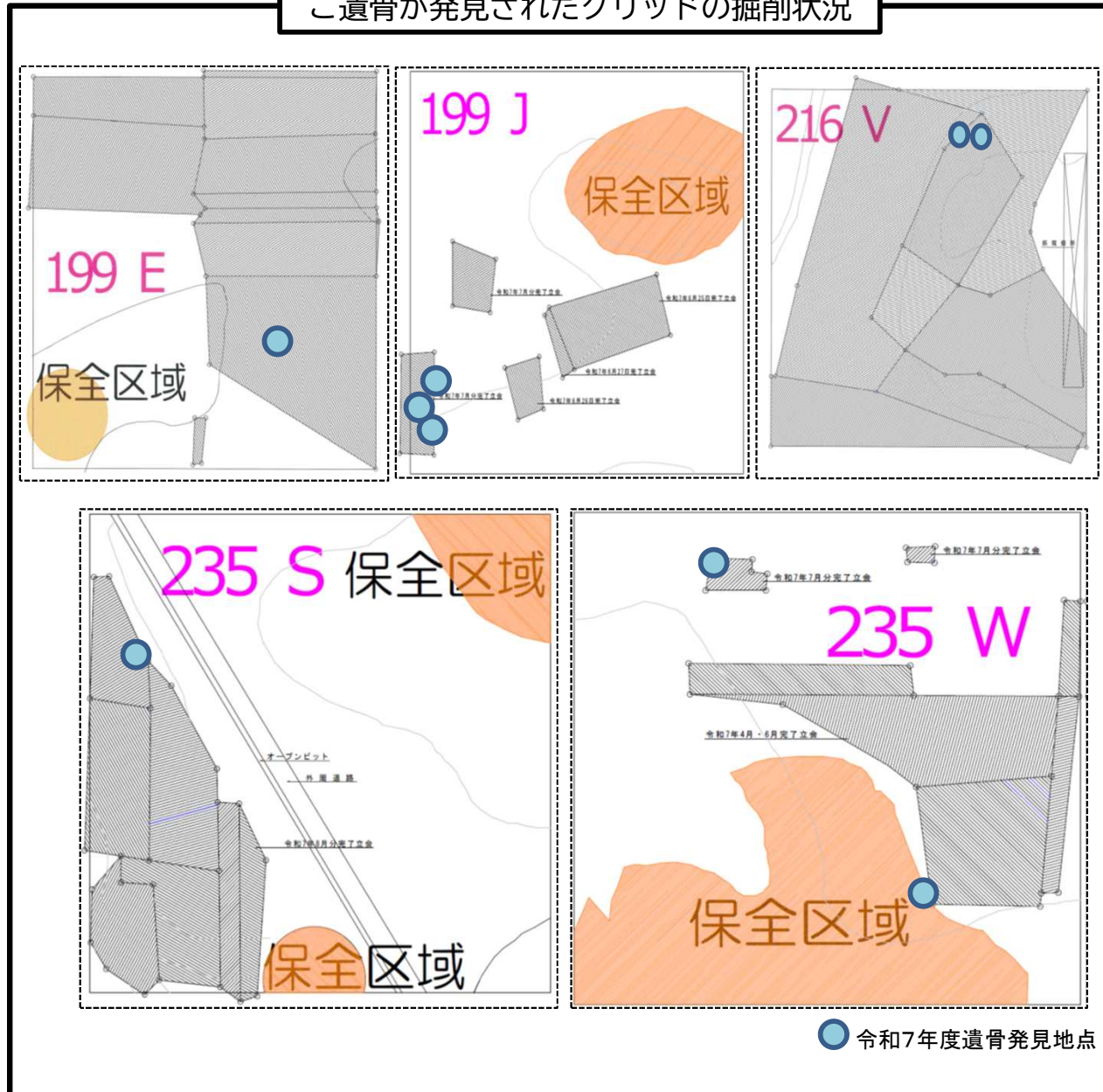


■ 樹木等の全伐開による表層の遺骨調査 対象グリッド

■ 調査した結果、大腿骨や長管骨等の一部を発見したグリッド



ご遺骨が発見されたグリッドの掘削状況



5グリッドの9地点から大腿骨や長管骨等の一部を発見
 ※調査の結果、遺骨が確認された場合は、現場保全を行った後、遺骨収集派遣団が收容する。

①伐採作業



②掘削作業



③遺骨確認作業



④埋戻し・整地作業



【令和7年度収容柱数】

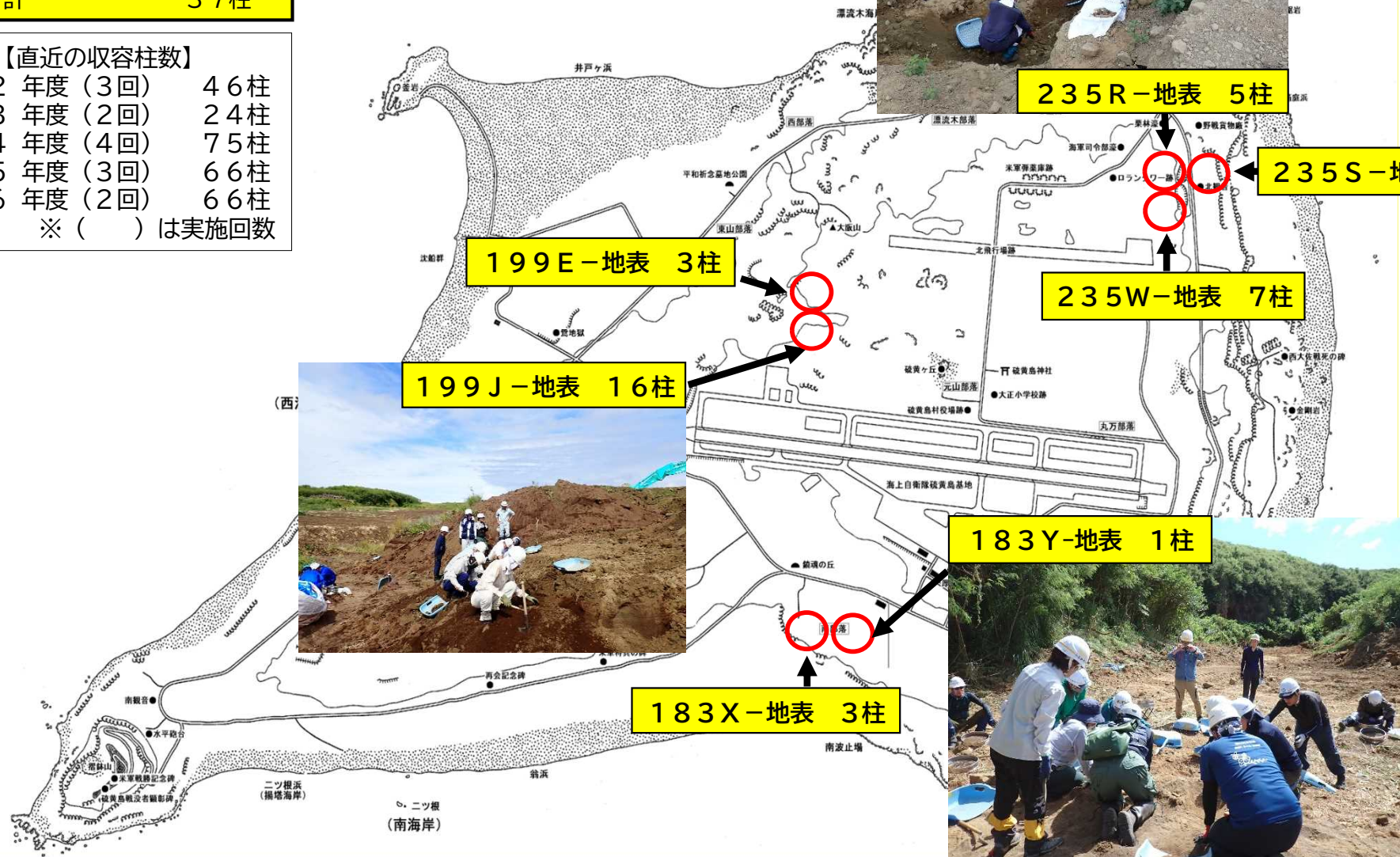
第1次収集 (R7.7) 23柱
 第2次収集 (R7.9~10) 中止
 第3次収集 (R7.11~12) 中止
 第4次収集 (R8.3) 14柱

計 37柱

【直近の収容柱数】

令和2年度 (3回) 46柱
 令和3年度 (2回) 24柱
 令和4年度 (4回) 75柱
 令和5年度 (3回) 66柱
 令和6年度 (2回) 66柱

※ () は実施回数



- 令和7年9月1日の噴火発生により、被害を受けた施設が一部あるものの、滑走路地区については、被害は出ておらず、利用可能であり、現時点では自衛隊の活動に大きな影響が出ている状況ではない。
- その上で、被害を受けた一部施設について、燃料供給パイプライン等の施設に被害が出ているものの、応急対応等により、現時点では自衛隊の活動に大きな影響が出ている状況ではなく、引き続き復旧に取り組んでいく。

